公的研究費のコンプライアンス教育等実施方策

1. 公的研究費コンプライアンス教育の実施方策

(1) コンプライアンス教育の対象者

- ・当財団が研究活動に参画していると判断する職員（非常勤雇用者を含む。）

(2) 実施体制

- ・コンプライアンス推進責任者は、統括管理責任者の指示の下、(1)の対象者に対してコンプライアンス教育を実施し、受講状況を管理監督する。
- ・コンプライアンス教育は、研究開発計画の初年度に必ず実施することとし、その後も適時に履修する。

(3) 実施方法

- ・次のいずれかのプログラムを履修する。
  - ① 一般財団法人公正研究推進協会（APRIN）の提供するeラーニングプログラム(CITI Japan)
  - ② 独立行政法人日本学術振興会(JSPS)がサービス提供する「科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－」

(4) 理解度の把握方法

- ・対象者の受講を確認する。
- ・コンプライアンス推進責任者は、報告書（別紙1）を統括管理責任者に提出する。

(5) 未受講者に対する方策

- ・未受講者に対し、コンプライアンス推進責任者の責任において説明会資料の受領及び教育用コンテンツ、eラーニングコースの視聴に係る督促を行う。

2. 誓約書の提出

(1) 対象者

- ・当財団が研究活動に参画していると判断する職員（非常勤雇用者を含む。）

(2) 誓約書の提出

- ・コンプライアンス教育受講者は、誓約書（別紙2）をコンプライアンス推進責任者に提出する。
- ・誓約書は、毎年度、コンプライアンス教育の実施に併せて提出する。

(別紙1)

年 月 日

統括管理責任者殿

一般財団法人医療情報システム開発センター

コンプライアンス推進責任者

〇〇〇〇〇(印)

コンプライアンス教育実施報告書

一般財団法人医療情報システム開発センターにおいては、公的研究費の管理・運営に関わるすべての対象者に対し、コンプライアンス教育を実施しましたので報告します。

(別紙2)

年 月 日

コンプライアンス推進責任者殿

誓約書

私は、自身が関与する公的研究費による研究課題の推進に当たり、所定のコンプライアンス教育を受講し、又は関連する資料を受領し、内容を理解した上で以下の事項を確認しました。

1. 一般財団法人医療情報システム開発センターの定める関連規程等や公的研究費の配分機関の定めるルールを遵守すること。
2. 公的研究費の不正使用や研究上の不正行為を行わないこと。
3. 関連規程等に違反して不正使用や不正行為を行った場合は、一般財団法人医療情報システム開発センターや公的研究費の配分機関による処分及び法的な責任を負担すること。

年 月 日

(自署)

所属： _____

氏名： _____ (印)